

河川分科会中間とりまとめ(案)参考資料

平成14年7月11日

I. はじめに

(1) 従来の治水政策の効果と課題

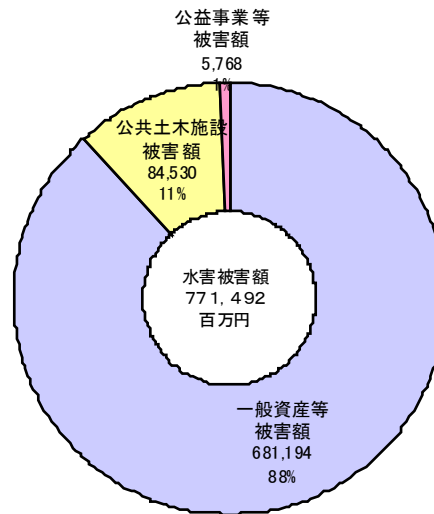
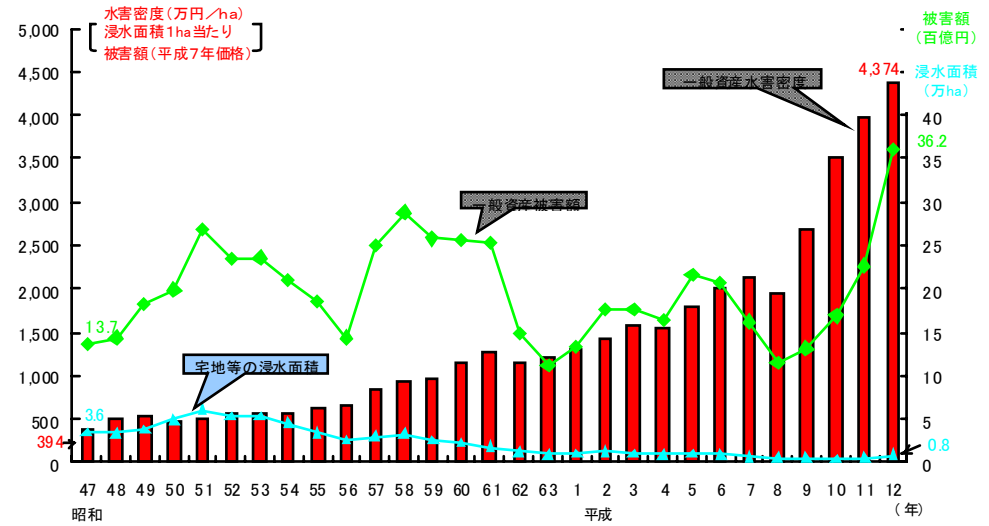
水害・土砂災害

- ・氾濫区域に集中する人口、資産
- ・台風、集中豪雨の多い気象条件

- ・効率的な洪水処理による実施
- ・重点的な施策の展開
 - ・総合治水対策
 - ・激特事業、床上対策事業

- 死者行方不明者数、被害面積の減少
- 中小規模の洪水への対処
- × 一般被害の増大

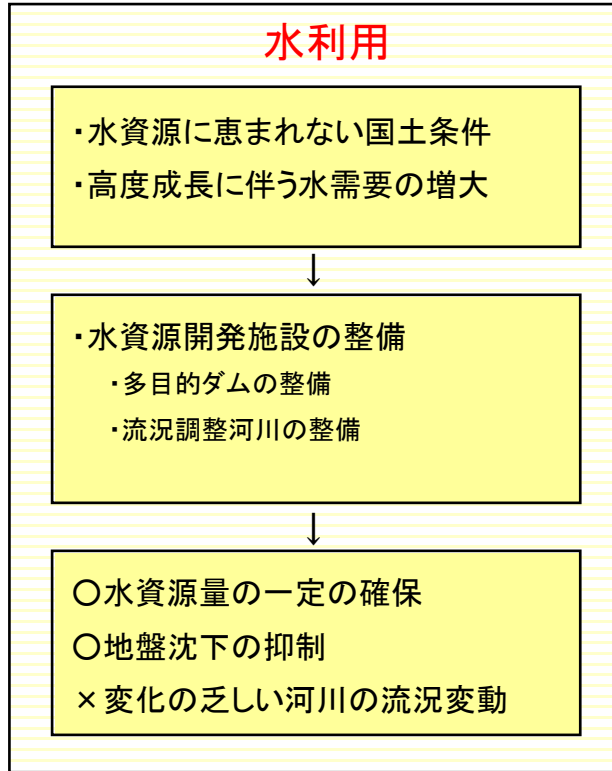
水害被害額の推移



東海豪雨における一般資産被害

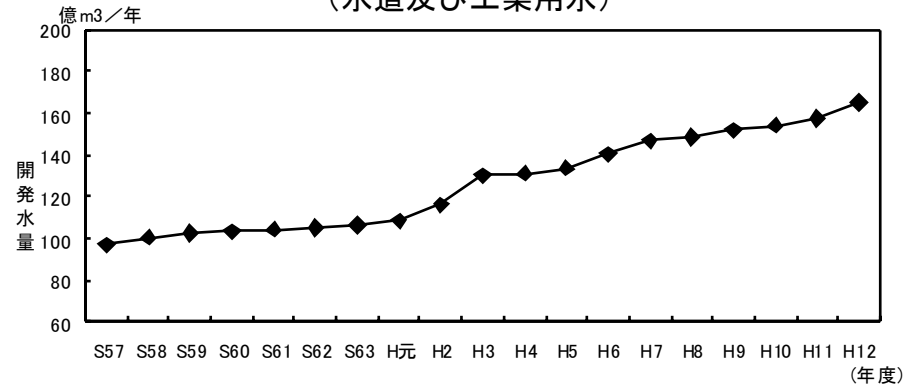
I. はじめに

(1) 従来の治水政策の効果と課題



水資源開発量の推移

完成した水資源開発施設による都市用水の開発水量
(水道及び工業用水)



国土交通省調べ



岩屋ダム(H13.8.7)



渇水による稲の立ち枯れ(H13.8.7)
(愛知県)

I. はじめに

(1) 従来の治水政策の効果と課題

河川環境

- ・四季を通じた豊かな自然環境
- ・自然の恵みを通じた地域社会と河川との関係



- ・環境に対する国民ニーズへの対応
 - ・河川敷空間の整備
 - ・河川環境管理基本計画の策定
 - ・多自然型川づくり、水質浄化対策等の実施



- 水辺空間の整備
- 水質改善の一定の効果
- ×河川と地域社会との関わりの希薄化

河川の利用



(あゆ釣り)



(松江の船下り)

I. はじめに

(2) 新たな時代の要請と治水政策上の課題

自然条件

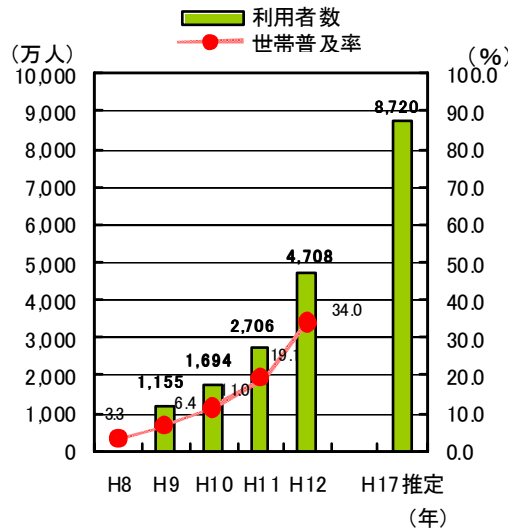
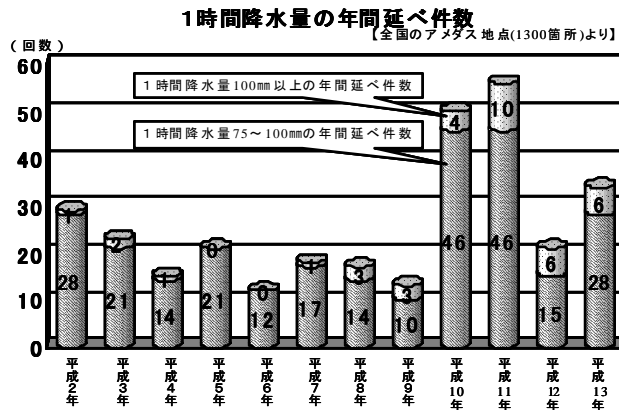
- ・地球規模の気候変動
- ・都市のヒートアイランド現象
- ・少雨化傾向

社会条件

- ・少子高齢化社会の到来
- ・都市への人口、資産の集中
- ・地下空間利用の増加
- ・情報化時代

国民意識

- ・自然環境への関心の増加
- ・市民活動の活発化
- ・防災意識の向上
- ・行政手続きの透明性、客観性の向上



時間100ミリ以上の集中豪雨

情報化時代
(インターネット普及状況:
総務省資料)

市民活動の活発化

Ⅱ. 基本的考え方

安全な国土

- ・災害に対する安全性
- ・生活環境における安全・安心

国土とは：単に空間としての土地のみをさすのではなく、そこで人間や他の動植物が生きる場所であり、その営みまで含んだ複合体



平成10年8月末
洪水(那珂川)



平成11年6月広島市
土砂災害(屋代川)



飲み水の安全性
印旛沼におけるアオコの異常発生

Ⅱ. 基本的考え方

美しい国土

- ・多彩な自然環境
- ・自然との共生を通じた個性ある文化、風土等
- ・地域社会と自然との融合



河川と文化

美しい自然環境



地域社会と河川

Ⅱ. 基本的考え方

治水政策立案の視点

- ・河川の持つ多様な機能の発揮
- ・流域の水循環系からの視点
- ・河川毎に異なる個性の活用
- ・地域社会と河川との関わり

治水政策を進める視点

- ・行政と国民との河川情報の共有化
- ・地域社会と一体となった河川整備計画
- ・市民団体等との連携
- ・総合行政の展開

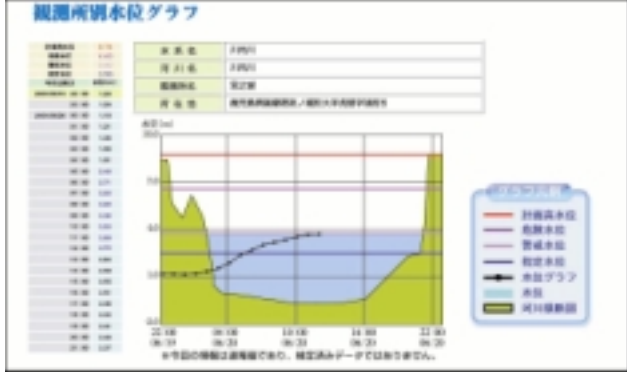
都市部の河川



住民参加(住民による植樹)



地方部の河川



水情報国土(ITによる河川情報の提供)

Ⅲ. 主要な施策展開

安全で安心できる国土づくり

(1) 流域・氾濫域での対応を含む 効果的な治水対策の実施

- ・総合的な治水対策の枠組みの検討
- ・都市計画、下水道、公園等との連携の強化
- ・下水道ポンプとの運転調整
- ・既存調節池の位置付けの明確化
- ・豪雨時の森林からの流木への対応
- ・非拡散型氾濫域での輪中堤等の対策の実施
- ・土地利用のあり方の検討
- ・流域の個性に応じた治水対策の選択

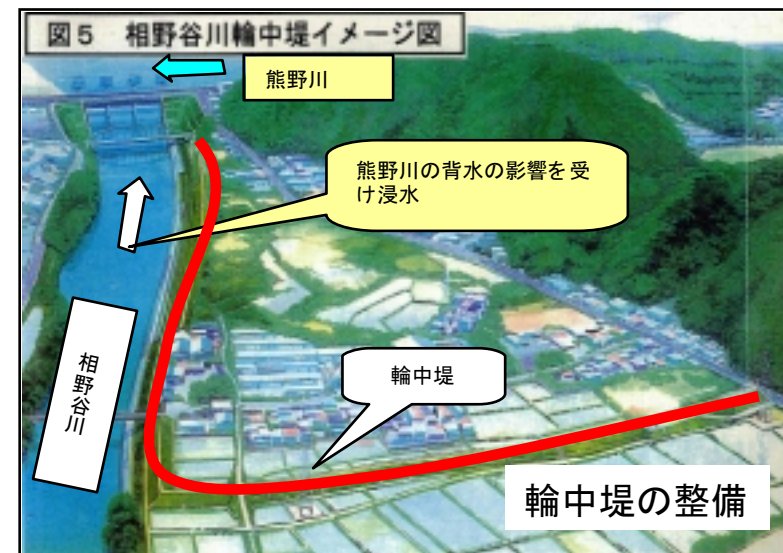
総合治水



校庭等での貯留



調節池

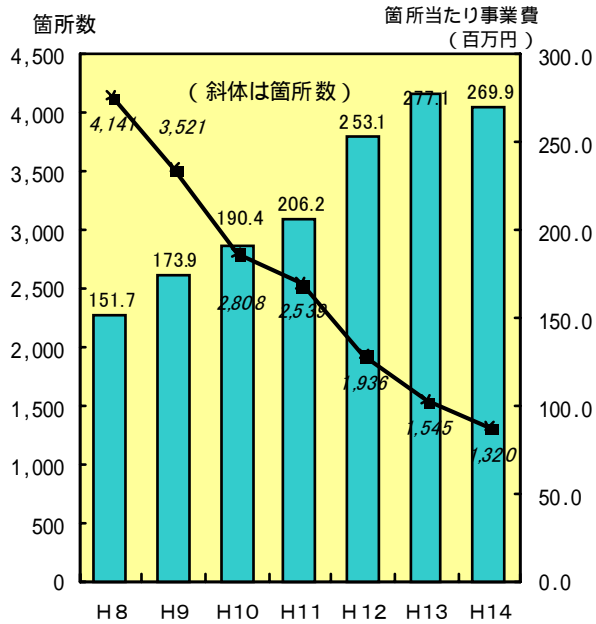


輪中堤と土地利用規制(相野谷川)

Ⅲ. 主要な施策展開

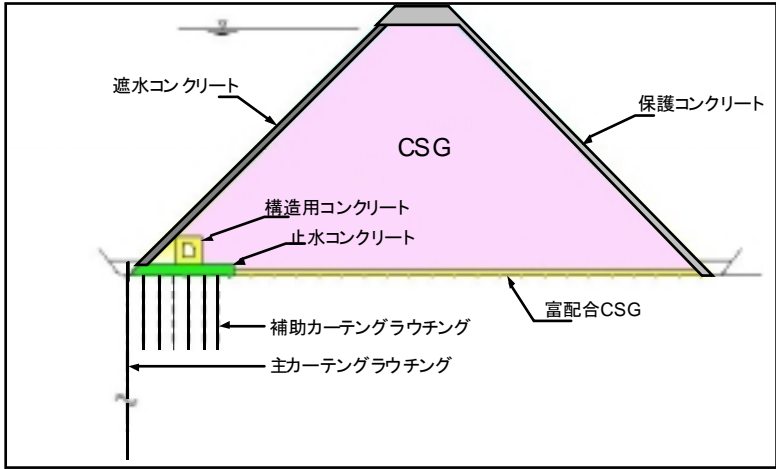
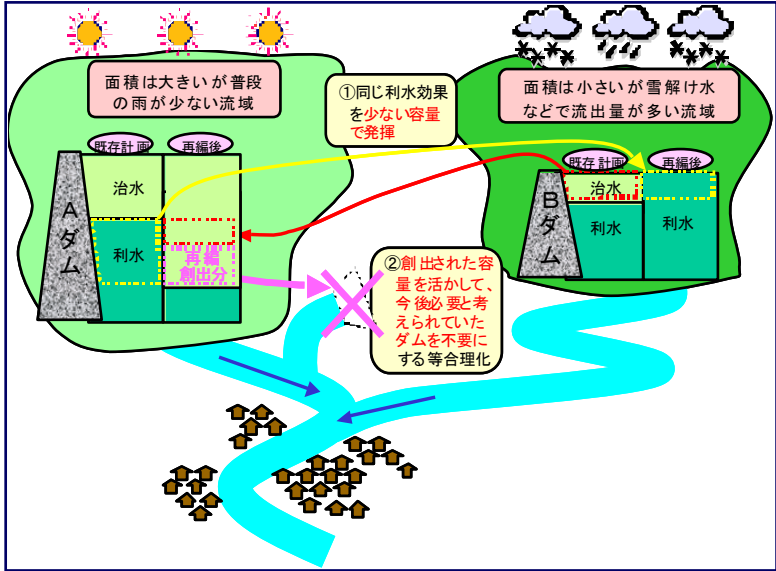
安全で安心できる国土づくり

- ### (2) 治水事業の一層の効率化
- ・事業箇所の一層の重点化
 - ・既存治水施設の有効活用
 - ・コスト縮減



事業の重点化

ダム群再編



コスト縮減の事例
台形CSGダム(設計、材料、施工の合理化)

Ⅲ. 主要な施策展開

安全で安心できる国土づくり

- #### (3) 被害最小化のためのソフト対策
- ・わかりやすい防災情報、渇水情報の提供
 - ・ハザードマップ作成と周知の支援
 - ・水害リスク情報の公表
 - ・地下空間での浸水対策の推進
 - ・防災関係機関、利水者との連携
 - ・土砂災害危険箇所の増加抑制

- #### (4) 安心できる生活環境
- ・安全な水の確保
 - ・災害弱者への対応



ハザードマップ



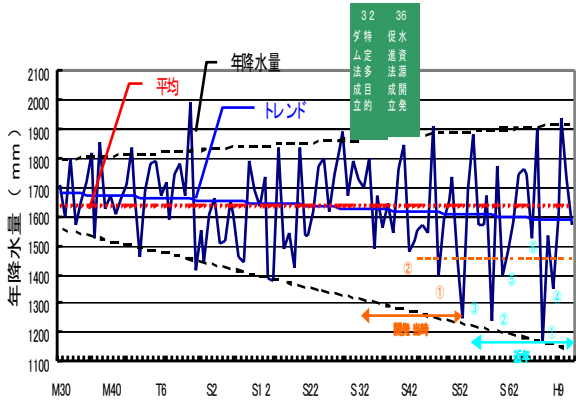
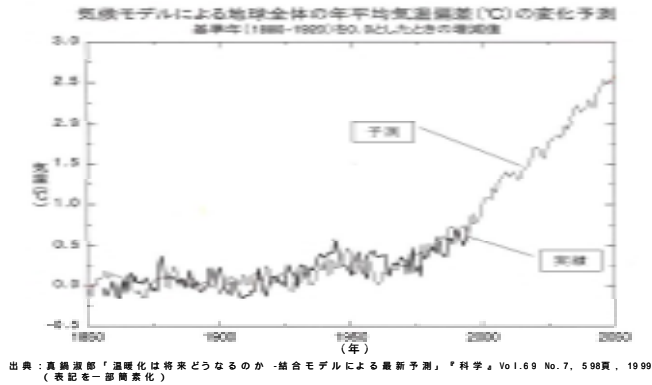
災害弱者対策(沖縄県添石地区における対策)

Ⅲ. 主要な施策展開

安全で安心できる国土づくり

(5) 地球規模の気候変動への対応
・利水安全度低下への対応

気温上昇予測



近年の少雨化傾向

(6) 危機管理施策の推進
・高規格堤防整備、異常渇水対策、
火山砂防対策

高規格堤防



火山対策(有珠山への対策)

Ⅲ. 主要な施策展開

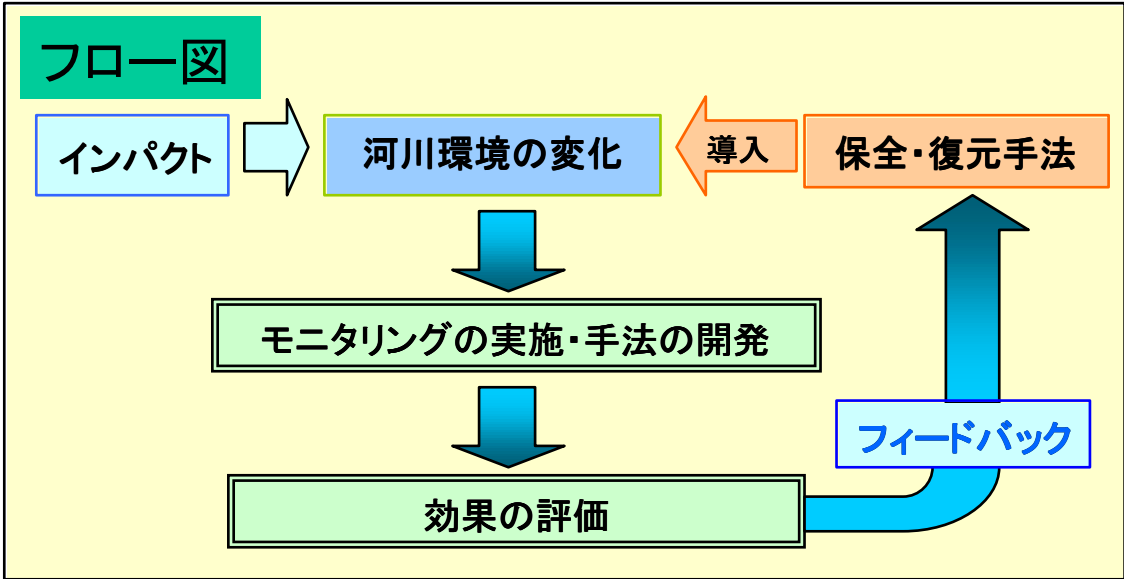
美しい国土づくり

- (1) 自然再生への取り組み
- ・河川の持つ良好な自然環境の保全・再生
 - ・アダプティブマネジメント手法の採用
 - ・専門家、市民団体等との連携

市民連携



釧路湿原



アダプティブマネジメント

Ⅲ. 主要な施策展開

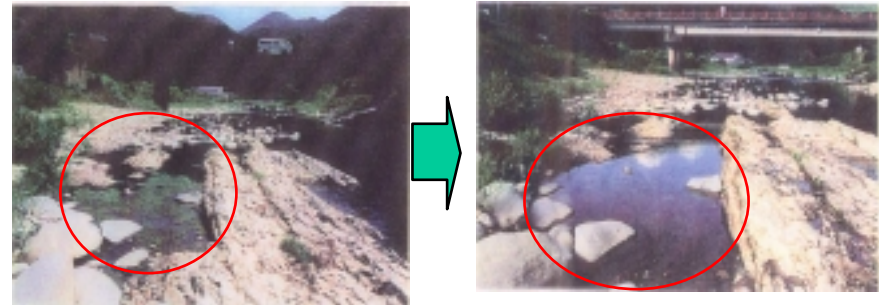
美しい国土づくり

(2) 水環境の改善を通じた 川らしさの確保

- ・正常流量の確保と減水区間の解消
- ・河川流量のダイナミズムの復元
- ・一層の水質改善への取り組みの推進
- ・流域の貯留浸透によるうるおいのある川
- ・流域の土砂管理による河床等の保全

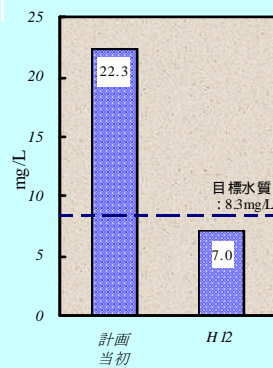
河川流量のダイナミズム

ダムからのフラッシュ放流により、浮遊緑藻類が流され、環境が改善



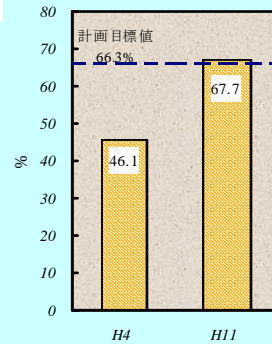
綾瀬川流域における 清流ルネッサンスの効果

綾瀬川直轄3地点の
BOD75%の平均



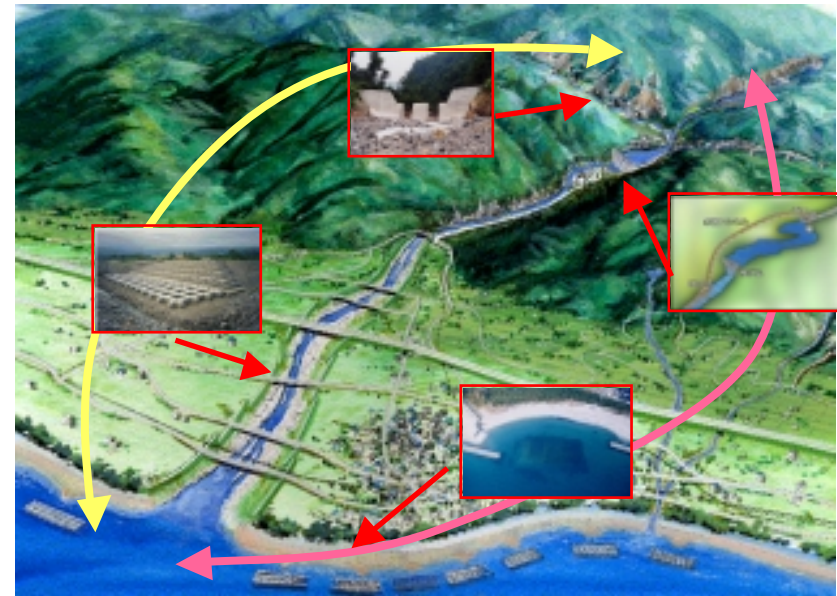
計画当初の1/3以下に改善

綾瀬川流域の水洗化
人口普及率



計画目標を上回る整備率を達成

水質改善



流域の土砂管理

Ⅲ. 主要な施策展開

美しい国土づくり

(3) 水辺空間整備による
地域づくり、まちづくりの支援

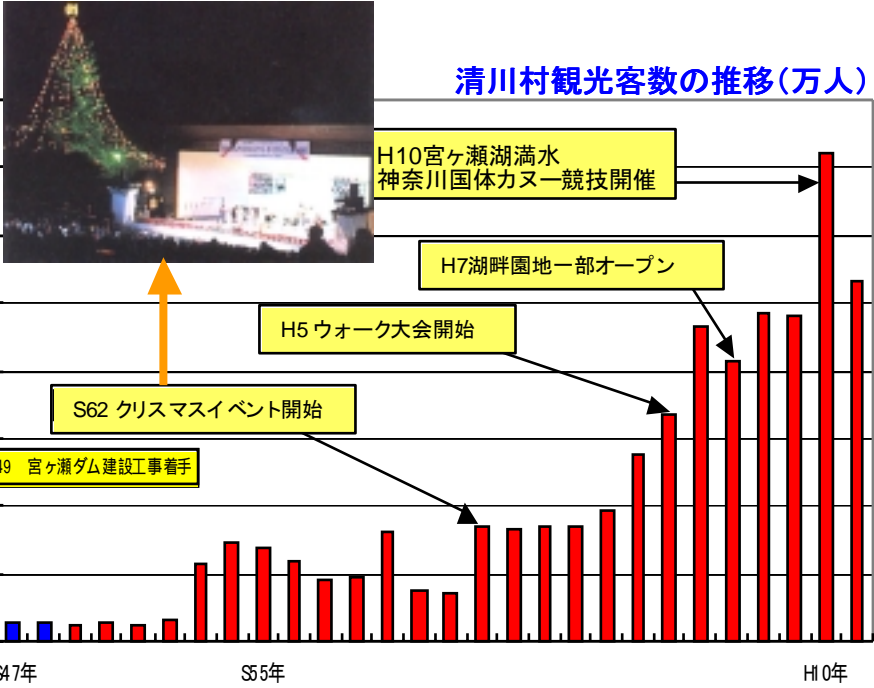
- ・河川の歴史、文化を活かした整備
- ・良好な水辺拠点の整備
- ・水辺都市再生の推進



水辺拠点の整備

(4) 地域活性化や観光に資する施策

- ・景観に配慮した水辺整備
- ・火山地域等の観光地の安全の確保



観光支援施策の事例
(宮ヶ瀬ダム、清川村)

Ⅲ. 主要な施策展開

美しい国土づくり

(5) 環境学習への支援

- ・環境学習の場としての水辺の提供
- ・ホームページ等による情報提供

(6) 適正な河川利用の支援

- ・安全性確保のための市民団体等との連携
- ・河川利用者間の調整の支援

<http://www.kawamanabi.river.go.jp>

Menu

川は貴重な自然体験の場であり、子どもの感性を磨き、子どもたちの想像力を養う最適の場でもあります。このホームページは、そのような川を活かした環境学習を支援するさまざまな情報を提供するホームページです。

環境学習のためのホームページ

川での体験活動を支援・推進

【会員団体への支援】

【ネットワーク】

【研究調査】

【協賛団体活動】

【CONEとの連携】

河川利用者協議会の活動

Ⅲ. 主要な施策展開

美しい国土づくり

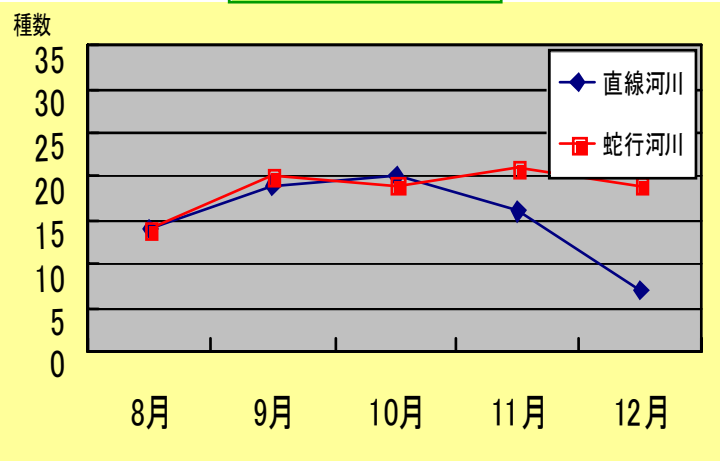
(7) 河川環境の整備、保全に関する
目標設定手法の開発
・目標に関する調査研究

自然共生センター



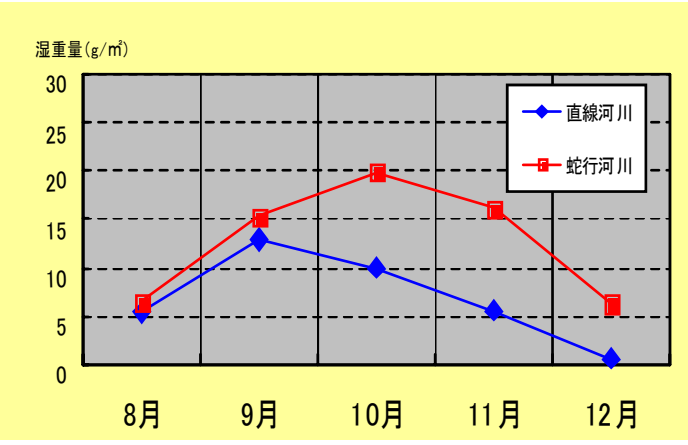
研究成果(直線河道と蛇行河道での魚類の生息量の違い)

種数の比較



直線河道	魚類のべ5目8科22種
蛇行河道	魚類のべ5目8科26種

現存量の比較



種数では、11月以降、個体数では、10月以降、直線河道と蛇行河道との差が大きくなっている